

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	面会ができる環境は整備しているが、イベントや日常の写真等、行った活動記録を示すことができていない。	利用者の活動写真を定期的に発信することで、家族もより安心して事業所を利用できる。	毎月発行するお便りに状況報告を添えた活動写真を同封する。 また、フォトブックを作成し、活動記録として年に一度ご家族へ提供する。	6ヶ月
2	35	夜間を想定した避難訓練に夜勤専従者の参加が得られていない。また、夜勤専従者との避難経路等の確認も不十分である。	夜勤専従者を含めたスタッフ全員が、夜間の避難経路や初動手順を把握する。	消防計画に挙げる11月の消防訓練において、夜勤専従者の参加を募り、消防署や消防団、地域住民の協力を得た避難訓練を実施する。 また、夜勤専従者には避難経路についての説明を随時行う。	6ヶ月
3	35	地域の消防団との接点が無いため事業所への認識が無いと思われる。災害時に援助を求めるためには協力体制を構築する必要がある。	事業所を管轄する消防団に事業所を認識してもらおうとともに協力体制を構築する。	消防署や区長等に仲介を依頼し、消防団と接見する機会を設ける。また来所していただき事業所について説明を行う。 夏季訓練や歳末警戒、出初式など、消防団活動に必要な支援を行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。